

令和8年度確かな学力育成加速化事業費 発信力強化による英語力向上事業
「岩手県 Kenji Cup 高校生英語ディベート大会」実施要項

岩手県教育委員会事務局学校教育室

1 趣旨

学習指導要領における三つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）の更なる育成を目指し、外国語における複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、生徒の英語発信力の向上に資する。

2 主催

岩手県教育委員会

3 共催

岩手県高等学校教育研究会英語部会

4 期日

令和8年10月25日（日） 8:30～17:00

5 会場

岩手県立盛岡第一高等学校

（使用会場及び教室等：白壁ホール、1年4～7組教室、2年4～7組教室、LL教室）

6 参加条件

- (1) 岩手県内の高校生を対象とする。ただし、英語のネイティブスピーカーを除く。
- (2) 次のア～ウの海外生活経験者等の条件に該当する者は1チーム2名までとし、各試合に出場できるのは1名までとする。（試合ごとの変更は可能）
 - ア 英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
 - イ 英語を第2言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
 - ウ 家庭で常用的に英語を使用している生徒※ 全国大会においては試合ごとの出場制限は設けず、条件該当者も各試合最大2名とも出場可能であること。
- (3) 出場校の英語教員が引率者となること。ただし、外国語指導助手等は引率者を兼ねることはできない。外国籍の教員は引率者となることできる。（岩手条件）
- (4) 試合当日はエビデンスを2部準備（相手チームとジャッジ用）。相手チームやジャッジに要望された場合、エビデンスを見せること。

7 チーム構成

- (1) 1校から参加できるのは2チームまでとする。
- (2) 1チームの登録選手は4名から6名とする。各試合のチェアパーソン（司会）及びタイムキーパー（計時）は、原則として対戦校どちらかの生徒（登録選手である必要はない）が担当する。
（※登録選手3名での応募希望の際は主催者に要相談。ただし3名での全国大会出場は認められない。）
- (3) 各試合への出場選手は4名、試合ごとの選手の入替えは可能とする。
- (4) 同じ県内に所在する2つの学校による合同チームについては、両校が選手不足の場合、合同チームを組んで参加することを認める。ただし合同チームとして全国大会に応募する際には、予選出場時点のチーム構成を変更することはできない。また3校以上による合同チームでの応募は認められない。

8 引率

- (1) 引率者は1チームにつき1名とし、当日は試合のジャッジを担当することを原則とする。
- (2) 参加校に所属する外国語指導助手等は、試合のジャッジを担当するものとする。

9 論題（全国大会における論題に準ずる）

That the Japanese government should eliminate all tariffs on imported rice.
日本政府は輸入米の関税を撤廃すべきである。是か非か。

10 日程詳細

参加チーム数が確定した後、組合せとともに参加校に後日通知する。

11 競技規則

基本的には第 21 回全国高校生英語ディベート大会実施要項に記載の競技規則に準じるが、参加校数等を考慮し、変更もあり得ることから、詳細については参加校に後日通知する。

12 申込み

参加申込書【様式 1】及び大会映像使用許可承諾書【様式 2】を 10 月 1 日（木）17:00 までに提出

（1）県立高等学校

「全県フォルダ」の「03_県教委提出【保存期限 1 年】」>「C2_学校教育室_学力向上担当」>「【R081001 期限】Kenji Cup 参加申込」

（2）盛岡市立高等学校及び私立高等学校

担当者宛てメール

13 メンバー変更

- （1）組合せ抽選会（ディベート運営委員会 10 月 7 日（水）会場：盛岡北高 14:00～16:30（予定）以降のメンバー変更は、当日の病欠等の特別な場合を除き禁止する。
- （2）無断でメンバー変更があった場合は、失格とする。複数チームが出場している学校のチーム間の移動があった場合も同様に失格とする。
- （3）当日の病欠等の特別な事情がある場合は、主催者（岩手県教育委員会担当者）と岩手県高等学校教育研究会英語部会のディベート担当（主任 1 名、副主任 2 名）で協議し、メンバー変更の可否を判断するものとする。

14 上位大会への出場権

- （1）参加校数が 2 校以上 11 校未満の場合は優勝校、参加校数が 11 校以上の場合は優勝校と準優勝校が県代表として令和 8 年 12 月 19 日（土）～20 日（日）に東京都の中央大学多摩キャンパスで開催される「第 21 回全国高校生英語ディベート大会」への出場権が与えられる。全国大会への選抜基準は一般社団法人全国高校英語ディベート連盟の規定による。
- （2）全国大会への参加経費については、参加校負担とする。
- （3）全国大会への出場権を得たチームが参加辞退を申し出た場合、次点チームが出場権を得る。

15 令和 8 年度「英語ディベート研修会（第 2 部：競技ディベート研修）」の参加について

令和 8 年度「岩手県 Kenji Cup 高校生英語ディベート大会」に参加する予定の高校英語担当教員、外国語指導助手等及び岩手県高等学校教育研究会英語部会ディベート担当委員の参加を悉皆とする。なお、申込み等については、「英語ディベート研修会」実施要項等を参照のこと。

16 その他

本大会は、本県出身の詩人宮沢賢治が花巻農学校（現 花巻農業高等学校）での教師時代、既にディベートを授業に取り入れていたことにちなんで、「Kenji Cup」と命名して開催するものである。

17 問い合わせ・連絡先

岩手県教育委員会事務局学校教育室 指導主事 千葉 慶多

TEL: 019-629-6162

Email: keita-chiba@pref.iwate.jp